

週刊新社会

3月6日 2018年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 164円 1部 150円 41円
 http://www.sinsyakai.or.jp/
 発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

さようなら原発全国集会
 3月21日(水)春分の日
 12時半～代々木公園で

3月議会始まる 増使用まめバス借上げ料可決

28日に開会した3月議会の初日に、先議案件として提案された一般会計補正予算案第6号を全会一致で可決した。

これは19年4月から新しいまめバス運行計画を実施するため、バス3台(7年間)の借り上げ料6480万円(税別)。まめバスは現在の10台(うち予備車1台)か

ら13台(うち予備車2台)体制となる。

先議となったのは納車に1年かかるため、年度内に入札と契約を終わらせる必要があると説明された。

新運行計画はパブリックコメントによって、南ルートの一部を櫛のホール経由としたほか、新南ルート(表3)の起終点を見直した。当初案は大利根温泉から大利根温泉

と、先議案件として提案された一般会計補正予算案第6号を全会一致で可決した。

～2005年以來の提言～ 経団連の悲願成就へ

「高プロ」は、年収1,075万円以上が対象者だから心配ない!?

元々は 年収 **400万円** が目標

過去の、経団連の本音が垣間見える発言を振り返ってみると、

- ▶「年収400万円または平均給与所得以上に」
- ▶「対象となる業務を追加可能に」

最終的にこの制度を実効性あるものにするには、年収要件の緩和や職種を広げる形にしないとイケない。



(2015.4.6 経団連榊原会長)

経団連の発信では、「年収400万円以上の人を対象にして、専門職だけでなく一般職にまでこの制度を適用させたい」ということが、最終的な狙いようです。

(2005年 経団連 ホワイトカラーエクゼンションに関する提言より)
<https://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/2005/042/teigen.pdf>

表1 一般質問順位表

日程	順位	氏名	会派
8日 木	1	邑楽 等	政清会
	2	椿 博文	公明党
	3	石原義雄	民進連合
	4	織田真理	日本共産党
9日 金	5	長南博邦	新社会党
	6	小室美枝子	市民ネット
	7	栗原基起	新しい風
	8	谷口早苗	無所属の会
12日 月	9	木名瀬宣人	政清会
	10	吉岡美雪	公明党
	11	滝本恵一	民進連合
	12	星野幸治	日本共産党
	13	古橋敏夫	政清会
	14	小椋直樹	民進連合
	15	染谷信一	政清会
	16	山口克己	政清会

表2 常任委員会日程

委員会	日時	議案数
総務	13日・10時	議案6件
環境経済	13日・13時	議案4件
建設	14日・10時	議案5件
文教福祉	14日・13時	議案13件 陳情1件

祝日91便を運行する。

またこれらのルートに乗らない地域について、まめバス以外の交通手段の確保を新年度に検討する。

表3 新南ルートの主な経路(変更後)

大利根温泉～スポーツ公園～福田保育所入口～木野崎入口～野田市駅～市役所～(キッコーマン病院)～愛宕駅～辻前～櫛のホール～琴平通り入口～上花輪香取前～今上上中～下里～梅郷駅～東新田～島会館入口～老人福祉センター

公契約最賃引上げ

最低賃金が上がったため、野田市の公契約賃金引き上げがされる。

清掃関係 891 → 919円
 施設維持管理事務員 968 → 998円
 給食配送員等 1000 → 1031円
 あわせて市の臨時職員等の賃金を見直す。

おさなみ議員の質問は 8 日・木 15 時前後から 裁判敗訴問題・介護保険・部活ガイドライン他

おさなみ議員の一般質問概要は以下のとおり。

1 NPO 法人野田文化広場が敗訴したことについて

同法人が利用者市民に対して損害賠償を求めて提訴したが、敗訴したことについて伺う。

①敗訴したことについて市と教育委員会の見解を求める。

② 2015 年 6 月議会における市長答弁は市民を一方的に批判したが、撤回すべきではないか。

③同一市民が提訴した行政文書開示請求却下異議申立却下取消請求事件で千葉地裁は原告勝訴判決をし、被告の市と教育委員会は控訴したが、文化広場敗訴確定で権

利の濫用は否定されている。控訴するに足る法的根拠はあるのか。

④この 2 件の裁判費用はいくらか。
⑤裁判の教訓を今後の行政運営にどう生かすのか。

2 会計年度任用職員制度について

法改正によって地方公務員の臨時・非常勤職員に対して 2020 年



4 月から会計年度任用職員制度が適用される。当該職員や職員組合との協議を経て、条例改正となる

と思うが、そのスケジュールや労働条件等についての考え方を伺う。

3 第 7 期介護保険制度について
第 7 期に入る介護保険制度及び野田市の計画について伺う。

①報酬改定でわずかにプラスとなったが、介護労働者の給与の現状と今後の引上げの見通し、及び介護労働者確保の見通しについて伺う。

②要支援認定者に対する総合支援事業の見通し及び全国 250 市町村で事業者が撤退するという調査結果が出されたが、野田市の現状について伺う。

③生活援助を削減しようとの動きがあるが、野田市の対応を伺う。

④ 2025 年度をめどに地域包括ケアシステムで重度者でも住み慣れた地域で暮らし続けられるようにする

建前だが、その実現性を問う。

4 パーソナルサポートセンター及び職業相談室について

①最近の実績について伺う。

②相互の連携について伺う。

③市民の認知度向上策について伺う。

5 教員の労働時間管理について

①野田市部活動ガイドラインの策定について伺う。

②新年度の教員等確保策について伺う。

立体交差事業進捗で 愛宕駅に大きな動き

東武鉄道の連続立体交差事業の進展とともに 3 月 18 日の始発から仮線で運行が開始される。それに伴い、愛宕駅は東口仮改札の利用が開始される。西口改札はしばらく使えるが、駅舎取り壊しと建設に合わせて 10 月上旬に閉鎖さ

れる見込みという。20 年度末をめざして駅の高架化とバリアフリー化が進められる。

野田市駅については駅西地区の区画整理事業で、新年度中に駅前広場（暫定）が整備される予算が組まれている。